

3 文化財の保護と活用

(1) 文化財

ア 岡山市の指定文化財

(平成24年5月1日現在)

分類		種別	国指定	県指定	市指定	合計
有形文化財	建造物	建造物	9 (国宝1) ※1	14	21	44 (国宝1)
		石造美術	3	6	8	17
	美術工芸品	絵画	6	5	4	15
		彫刻	4	8	9	21
		工芸品	32 (国宝4)	29	9	70 (国宝4)
		書籍典籍	1	3	4	8
		古文書	1	3	6	10
		歴史資料	2	0	6	8
		考古資料	3	3	1	7
	無形文化財			2 ※2	3	0
民俗文化財	有形民俗文化財		0	2	7	9
	無形民俗文化財		0	5	4	9
記念物	史跡		18	15	11	44
	名勝		1 (特別名勝1)	1	0	2 (特別名勝1)
	天然記念物		3 ※3 (特別天然記念物1)	2	14	19 (特別天然記念物1)
選定	選定保存技術		0	0	1	1
	伝統的建造物群保存地区		0	—	—	0
合計			85	99	105	289
登録	登録有形文化財		66	—	—	66
付	重要美術品		9	—	—	9

※1 () は国宝・特別名勝・特別天然記念物の数で内数

※2 団体認定の構成員数

※3 タンチョウ、アユモドキ、オオサンショウウオは「地域を定めず」

イ 岡山市教育委員会取り扱いの埋蔵文化財届出・通知等件数

(平成24年3月31日現在)

	92条 調査の 届出	93条 発掘の 届出	94条 発掘の 通知	96条 発見の届 出・通知	99条の1 調査の 通知 ※1	100・102条 出土物 調査 ※2	試掘調査 ※3	125条 記念物 現状変更	総計
平成17年度	1	80	82	1	9	4	20	31	228
平成18年度	0	86	64	0	5	5	20	37	217
平成19年度	4	125	67	0	3	6	30	34	269
平成20年度	6	128	54	0	6	9	11	35	249
平成21年度	7	181	57	1	8	13	14	38	319
平成22年度	7	170	53	1	5	15	29	58	338
平成23年度	6	188	34	0	3	8	27	64	330

※1 平成17年度に文化財保護法改正に伴い58条の2から99条の1に、改正

※2 平成9年度に中核市に権限委任

※3 平成9年度から58条の2(現99条の1)適用

ウ 文化財保護施設

(ア)岡山市埋蔵文化財センター

◎沿革

増大する埋蔵文化財の発掘調査とその出土遺物の収蔵、整理、保存など、岡山市の埋蔵文化財保護の拠点施設として平成12年4月に開館し、その一部を公開・活用している。

出土品を収蔵する収蔵庫、有機質遺物・金属製遺物などの保存に温度・湿度管理の可能な特別収蔵庫、木器、鉄器などの保存処理を行う各保存処理室などの設備とともに、出土品などを陳列する展示室を、埋蔵文化財の公開・普及のため活用している。

◎概要 ●所在地 岡山市中区網浜834番地1

●面積	敷地面積	2,442.85㎡	建築面積	845.09㎡
	延床面積	1,895.79㎡	1階	747.15㎡
			2階	736.34㎡
			3階	412.30㎡

●構造 鉄筋コンクリート造3階建

●総事業費 7億7千万円

◎施設概要

●公開スペース	207㎡	●事務スペース	93㎡
展示室	165㎡	事務室	44㎡
収蔵展示室	36㎡	会議室	49㎡
図書コーナー	6㎡	●研究スペース	198㎡
●作業スペース	194㎡	研究室・図面整理室	90㎡
遺物整理室	105㎡	書庫	81㎡
水洗室	24㎡	写場	27㎡
鉄器処理室	26㎡	●収蔵スペース	845㎡
木器処理室	21㎡	収蔵庫	816㎡
仮収蔵庫	18㎡	特別収蔵庫	29㎡

●駐車場 10台

◎事業の概要

- 発掘調査
- 出土遺物の洗浄、復元、実測など整理と資料化
- 出土遺物・調査記録などの収蔵、保管
- 分布調査と遺跡台帳の整備
- 収蔵品の展示・公開
- 発掘調査現地説明会などの開催

◎公開 ●開館時間・休館日

午前9時～午後4時30分

毎週日曜日・国民の祝日に関する法律に定める休日及び年末年始の休日

●入館料：無料

◎Webページ <http://www.city.okayama.okayama.jp/kyouiku/maibun/>

(イ)岡山市立歴史資料館足守文庫

◎沿革 旧足守藩に伝わる歴史資料の保存・公開を図るため、昭和38年、近水園に隣接して建てられたものである。現在は、縄文時代から近世にいたる足守の歴史を展示。

◎概要 ●所在地 岡山市北区足守822番地1

- 施設概要 鉄筋ブロック平屋建（建築面積 151㎡）
- 収 蔵 品
 - ・緒方洪庵関係資料
 - ・旧足守藩及び足守県庁関係歴史資料・文書
 - ・足守地域の発掘調査で出土した遺物
- ◎公開 ●開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- 休 館 日 毎週月曜日（祝日のときはその翌日）
国民の祝日に関する法律に定める休日の翌日
年末年始の休日
- 入 館 料 無料（事前に近水園管理事務所に連絡が必要）

(ウ) 政田民俗資料館

◎沿革

政田地区における干拓地関係の民俗資料は、昭和44年以来、奥江武氏ら地元有志により意欲的に収集されて、政田小学校の教室に設けられた政田民俗資料館で保管展示されていた。昭和52年に校地内に政田民俗資料館が設けられたが、平成11年に政田コミュニティーハウスの完成に伴い同施設内に移転し保管・管理している。

民俗資料1,200点余りを収蔵しており、うち235点が平成14年4月10日、干拓地沖新田（政田）民俗資料として岡山市重要有形民俗文化財に指定された。

- ◎概要 ●所 在 地 岡山市東区政津1032番地3 政田コミュニティーハウス内
- 収 蔵 品 岡山市重要有形民俗文化財・干拓地沖新田（政田）民俗資料を含む、近代の農工漁具 など生産用具、生活用品など。
- 見 学 事前に連絡が必要
無料

(エ) 岡山市灘崎歴史文化資料館

◎沿革

岡山市灘崎歴史文化資料館は、史跡保存整備を計画している彦崎貝塚のガイダンス的施設と位置づけられる。あわせて、旧灘崎町内から出土した遺物と民俗資料を展示し、旧町内の歴史や民俗を概観できる。とくに、彦崎貝塚出土遺物は、縄文時代前期の基準となる資料であり、学問的にも貴重なものである。平成6年10月に灘崎町歴史文化資料館として開館したが、平成17年3月、合併に伴い岡山市灘崎歴史文化資料館となった。

- ◎概要 ●所 在 地 岡山市南区片岡186番地 灘崎文化センター内
- 面 積 190㎡
- 収 蔵 品 灘崎地区での発掘調査出土遺物、民俗資料
- ◎公開 ●開館時間 午前9時～午後5時
- 休 館 日 毎週月曜日、毎月末日
国民の祝日に関する法律に定める休日および年末年始の休日
- 入 館 料 無料

(オ) 岡山市瀬戸町郷土館

◎沿革

岡山市瀬戸町郷土館は、史跡の保存事業を行っている大廻小廻山城跡のガイダンス的施設として位置づけられる。あわせて、旧瀬戸町域から出土した遺物と民俗資料を展示し、旧町域内の歴史や民俗を概観できる展示を行っている。なかでも、シカを描いた陣場山遺

跡出土の埴輪や東大寺瓦窯跡出土の東大寺瓦などの貴重な考古資料も展示している。合併により、平成19年1月に岡山市瀬戸町郷土館となった。

- ◎概要 ●所在地 岡山市東区瀬戸町観音寺567番地
●面積 253.48㎡
●収蔵品 瀬戸地区での発掘調査出土遺物及び採集遺物、民俗資料
- ◎公開 ●開館時間 午前9時～午後4時30分
●開館日 第2・第4日曜日
●入館料 無料

(カ) 岡山市御津郷土歴史資料館

◎沿革

岡山市御津郷土資料館は、岡山市域北半部における中核的な歴史資料移館である。旧御津町域から出土した遺物や民俗資料を展示し、岡山市域北部の歴史や民俗を概観できる。なかでも、全国的にも珍しい弥生時代のお祭りの様子を描いた新庄尾上遺跡出土の土器や原遺跡から出土した石鍬などの貴重な考古資料も展示している。平成22年3月から岡山市御津郷土歴史資料館となった。

- ◎概要 ●所在地 岡山市北区御津金川529番地1
●面積 346.5㎡
●収蔵品 御津地区での発掘調査出土遺物及び採集遺物、民俗資料
- ◎公開 ●開館時間 午前9時～午後5時
●休館日 毎週月曜日
●入館料 無料

エ 教育委員会所管及び管理の文化財

区 分	名 称	所 在 地	備 考
重要文化財	岡山城月見櫓	北区丸の内二丁目	
重要文化財	岡山城西丸西手櫓	北区丸の内一丁目	民有・管理団体
重要文化財	旧旭東幼稚園園舎	北区二日市	
史跡	旧岡山藩藩学	北区蕃山町	
史跡	造山古墳附第1～第6古墳	北区新庄下	
史跡	高松城跡附水攻め築堤跡	北区立田	
史跡	賞田廃寺跡	中区賞田	
史跡	尾上車山古墳	北区尾上	
史跡	牟佐大塚古墳	北区牟佐	国有・管理団体
史跡	幡多廃寺塔跡	中区赤田	国有・管理団体
史跡	神宮寺山古墳	北区中井町一丁目	民有・管理団体
史跡	大多羅寄宮跡	東区大多羅町	民有・管理団体
史跡	真金一里塚	北区吉備津	国有・管理団体
史跡	惣爪塔跡	北区惣爪	国有・管理団体
史跡	浦間茶臼山古墳	東区浦間・浅川	市有・民有
史跡	彦崎貝塚	南区灘崎町彦崎	一部所管
史跡	大廻小廻山城跡	東区草ヶ部・瀬戸町	一部所管
史跡	万富東大寺瓦窯	東区万富	一部所管
県史跡	高松城水攻め鳴谷川遺跡附工事奉行の墓	北区長野	一部所管
県史跡	倉安川吉井水門	東区吉井	国有・管理団体
県重要文化財	旧足守藩侍屋敷遺構	北区足守	
市重要文化財	旧木下権之助屋敷表門	北区足守	
市重要文化財	備前備中国境並びに海面御裁許絵図		
市重要文化財	花房家史料		寄贈
市重要文化財	羽柴秀吉書簡		寄託
市史跡	加茂城二ノ丸跡	北区加茂	
市史跡	横井上お台場遺跡	北区横井上	
市重要有形民俗文化財	つちえの井戸	南区妹尾	
市重要有形民俗文化財	戸川陣屋井戸	南区妹尾	
市重要有形民俗文化財	干拓地沖新田(政田)民俗資料	政田民俗資料館	
	旧足守藩関係資料	足守文庫	寄贈
	木下利玄資料		寄託
	清山神社資料		
市重要文化財(一部)	花房家歴史資料		寄贈
	戸川家歴史資料		寄贈
市重要文化財	片岡家銅鐸	埋蔵文化財センター	寄託
	民俗資料(農具等)		収集・寄贈

オ 主な文化財

国宝 吉備津神社本殿・
拝殿

岡山市北区吉備津

比翼入母屋造、別名吉備津造と呼ばれ、他に例を見ない型式。京都の八坂神社本殿につぐ大きさをもつ。神社は備中一宮をなした名神大社。本殿は足利義満が再興し、応永32(1425)年に落成。



重要文化財 岡山城月見櫓
(建造物)

岡山市北区丸の内
二丁目

元和年間(17C前葉)に池田忠雄が普請した本丸表書院の段の北西隅櫓。風格を備えた造りになり、二重二階建地下付。明治維新と昭和20年の岡山大空襲でほとんどの建物を失った岡山城に残された、数少ない建物の一棟。



重要文化財 旧旭東幼稚園園舎
(建造物)

岡山市北区二日市

明治41年6月30日に竣工した擬洋風木造建築の幼稚園舎で、建物は正八角形の遊戯室を中心に四方へ保育室を張り出させた特徴的なもので、当時の岡山県工師・江川三郎八の設計によるものである。



史跡 造山古墳
(附第1～第6古墳)

岡山市北区新庄下

全長350mの古墳時代前期の巨大前方後円墳。全国4位の規模。五世紀中葉の築造と推定され、畿内政権に匹敵する勢力を誇った吉備の大首長の墓といわれる。前方部前面の丘陵上に、装飾古墳として有名な古式横穴式石室墳・千足古墳や榊山古墳を含む6基の小墳が並ぶ。



特別名勝 岡山後楽園

岡山市北区後楽園

貞享3(1686)年備前藩主池田綱政が家臣津田永忠に命じて造らせた回遊式庭園で、元禄13(1700)年に完成した。初め茶園、後園と呼ばれたが、明治4年に後楽園と改称。典型的な大名庭園で、優美で格調高い造形。



天然記念物 アユモドキ

地域を定めず

日本固有のドジョウ科の淡水魚。最も原始的な形質を遺し、系統分類学上からも貴重な稀少魚。旭川下流水系、吉井川下流水系等に生息。



県指定 安住院多宝塔
重要文化財
(建造物) 岡山市中区国富
二丁目

18世紀なかばの建立。本瓦葺重層の宝形造り。下層は方三間。亀腹を伴う上層は円筒形の軸を組む。瓶井山にあることから「瓶井(みかい)の塔」「みかえりの塔」などと呼ばれている。後樂園の借景で有名。



県指定 旧足守藩侍屋敷遺構
重要文化財
(建造物) 岡山市北区足守

旧足守藩家老・杉原氏の邸宅で、江戸時代中期の武家屋敷である。主屋、長屋門、土蔵、土塀、庭園など当時の屋敷構造がほぼ完全な形で残されている。昭和31年4月1日、県重要文化財(建造物)に指定された。



県指定史跡 倉安川吉井水門
岡山市東区吉井

倉安川は吉井川と旭川を繋ぐ水運兼灌漑用の運河で延宝7(1679)年に完成。吉井水門は2基の水門の開閉で水位を調整し、船を通す閘門式運河で、取水口・舟だまり・出口水門・番所跡が遺存している。



県指定名勝 近水園
岡山市北区足守

足守藩主木下家の居館の奥手に設けられた、遠州流の池泉回遊式大名庭園である。18世紀初めの6代藩主・木下谷定の築庭と推定される。園内の吟風閣は、谷定が幕府より京都仙洞御所、中宮御所の造営を命じられた際、残材を持ち帰り建築したものといわれている。



市指定 旧木下権之助
重要文化財 屋敷表門
(建造物) (北木門)
岡山市北区足守

弘化3年に木下権之助家の正門として再建された建物である。明治期には足守小学校の正門として使われるが、現在地に倉庫として移築。建物の骨格を良好に残しており、さらに正面外部の物見窓や下見板などよく旧状を保っている。



(2) オリент美術館

ア 設置目的

市民の教育、学術及び文化の向上発展に寄与するため、博物館法に基づく博物館として活動を行い、文化・教育の拠点として多くの市民に親しまれ、文化的で風格のある都市づくりの一環として設置されている。

この美術館は、学校法人岡山学園（当時の理事長：安原真二郎氏）から、オリент地域出土の美術品（イラン・イラク・シリア等）約1,950点の寄贈を受けたのを契機に建設された我が国でも数少ないオリент専門美術館。

約4,000点の館蔵美術品は、専門家の指導のもとに学術的体系的に収集され、オリентの歴史と文化が理解しやすいように構成されている。



イ 設置の概要

- ・所在地 岡山市北区天神町9番31号
- ・開館年月日 昭和54年4月6日
- ・開館時間 9時～17時（入館16時30分まで）
- ・休館日 毎週月曜日（祝日のときは翌日）
年末年始
展示替え期間
- ・施設概要 鉄筋コンクリート造

建築面積	1,386 m ²
展示面積	1,343 m ²
収蔵面積	436 m ²

階	各階の構造と面積
B	講堂 (98m ²), ホワイエ (20m ²)
1	展示室 (368m ²), オリエンテーションルーム (65m ²), 来館者参考室 (24m ²) 事務室 (33m ²), 館長室 (16m ²), 応接・会議室 (22m ²), 研修室 (22m ²) 第1収蔵庫 (96m ²)
2	展示室 (501m ²), 光庭 (72m ²), 喫茶室 (43m ²), 第2収蔵庫 (92m ²)
3	学芸室 (91m ²), 図書資料室 (55m ²), 研究室 (14m ²), 二次資料室 (17m ²) 暗室 (12m ²), 第3収蔵庫 (119m ²)

・入館料（常設展）

	個人	団体
一般	300円	240円
高・大学生	200	160
小・中学生	100	80
・団体 20名以上 ・免除者（常設展） 65歳以上で老人手帳を有する者 障害者で障害者手帳を有する者及びその介護者1名 市内の小・中学生で、学習活動として引率者のもとに団体で入館する場合（引率者を含む）		

・施設等の使用料

	単位	金額
講堂	9時～12時	2,600円
	13時～17時	3,500
	9時～17時	6,000
映像装置類	1台1回につき	1,500
映写機(スライド)	1台1回につき	450
拡声装置	1台1回につき	450
音声ガイド機器	1台1回につき	200

ウ 事業内容

- ・美術品、考古資料及びその他資料を収集。保管及び展示。
- ・美術館資料に関する調査・研究。
- ・オリエントの歴史や文化に関する講演会、講座、研究会等の開催。
- ・市民の教育、学術及び文化の向上に寄与するために必要な業務等。

エ 館蔵品 (H24.3.31 現在)

品名	数量(点)
土器	209
土器片	125
土製品	179
石器	601
石器製品	344
彫刻	106
モザイク	15
印章・護符	439
陶器・ファインズ	372
ガラス	507
金銀器	21
青銅器	160
コイン	502
装身具	93
染織	61
絵画・書	22
小品	180
岡崎コレクション(未整理分)	262
総点数	4198

館蔵品は、紀元前数万年から紀元後19世紀までのオリエント（現在のイラン・イラク・シリアおよびその周辺）地域から出土した考古資料及び美術工芸品で、人類最古の文明のあかしとして、また、東西文化交流のしるしとして、人類文明の過去、現在、未来を考える上で貴重な資料である。

オ 主な事業報告

	開催期間	入館者数
展示	館蔵品展（常設展） 『光はオリエントより』	H23.4.1～ 6.19 13,703人
	併設企画展（館蔵品展に併設の企画展） 『オリエント 美の謎にせまる』 『印章に描かれた古代オリエントの世界』 『オリエント美術館のイスラーム文化入門』 『新収蔵品展』	特別展期間中を 除く通年 館蔵品展に 含む
	特別展 『古代エジプト 神秘のミイラ展』	H23.7.2～ 9.4 31,006人
平成23年度総入館者数		44,709人

		開催期間	聴講者・参加者数
教 育 普 及	特別講演会 『古代エジプトの死生観とミイラ』 近藤 二郎	H23. 7. 9 他7回	計416人
	美術館講座 『オリエント美術館建築に見るオリエント的要素』 館長 谷一 尚	H23. 4. 9 他18回	計611人
	ジュニア・オリエント教室 『モザイク画教室』 高橋 宏江	H23. 7. 25	100人
	ギャラリートーク 展示品に関する解説 主任学芸員 四角 隆二 " 須藤 寛史	毎月第1・第3 土曜日及び 特別(企画)展 会期中は随時 計31回	計469人
	ギャラリーコンサート 『ヴラダン・コチ チェロコンサート I N岡山』 ヴラダン・コチ 有吉英奈	H23. 4. 17 他10回	計1226人
収集 保存	オリエント美術品収集事業		
調査 研究	各分野専門研究者との共同資料調査		
維持 管理	施設の計画的修繕		